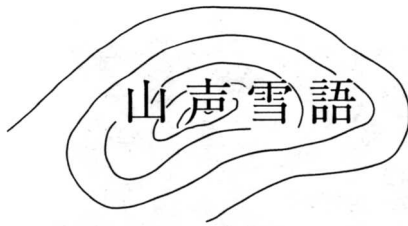


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2623回★ 奥美濃 大日ヶ岳 1,709m	3月5日(土) ~6日(日) 5日AM8:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	5日 京都南IC(名神・東海北陸道) ー蛭ヶ野ICー高鷲スノーパーク(ゲレンデスキー)ー 民宿泊 6日 大日ヶ岳往復ー温泉入浴 ー往路帰洛
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日目午後はゲレンデスキーをします。 ・ 2日目早朝からスノーシューまたはワカンで登ります。 ・ 参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
第2624回★ 岩尾山 471.1m	3月26日(土) AM8:00 竹田駅西口集合	吉田 武	京都南ICー甲南ICー甲南町杉谷 ー岩尾池畔駐車…岩尾山… 大沢池…駐車地点ー甲南IC ー京都南ICー竹田駅西口
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 装備 日帰り装備 ・ 費用 1,000円 ・ 参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
第2625回★ 信楽の山 長野東山 559.7m 堂山 521.7m 大納言 596m	4月13日(水) AM8:00 竹田駅西口集合	吉田 武	京都南ICー信楽ICー信楽町長野 ー東山登山口…△559.7m… 登山口ー長野ーR307信楽大橋 ー堂山登山口…△521.7m… 登山口ー信楽大橋ーR307牧 ーアセボ峠手前林道駐車ー △583.3mー596mー峠手前林道 駐車地点ーR307牧ー信楽ICー 京都南ICー竹田駅西口
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 装備 日帰り装備 ・ 参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
今月の集会 日時 3月16日(水) 18:30~ 場所 職員会館かまがわ (雑報参照)		企画運営委員会 日時 3月8日(火) 18:30~ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)	



一時期の寒さの峠は越えて暖かくなり、梅の花がちらほら咲き始めている。毎年のことながら、暖かくなると花粉が飛び始め、花粉症である私にとっては憂鬱の種となる。

春は桜で、2月20日の読売新聞に桜の開花予想の記事が出ていた。今年から気象庁が撤退し、民間の気象情報会社3社による桜の開花予想が発表された。

昨年の開花予想的中率は1～2割と低調であったため、各社は予想方法に工夫をこらし、的中率アップを目指す。3月～4月にかけて最新の開花予想に更新するという。

桜は花咲く期間が短く、かつ、注目度が高いため、開花予想的中率が良い程、有料で気象情報を提供している気象情報会社にとってはアピールできると考えているようである。

ちなみに、京都府の開花時期は、日本気象協会（2日発表）が3月28日、ウエザーニューズ（14日発表）が3月26日～4月9日、ウエザーマップ（18日発表）が3月26日となっている。

桜にとってはどうでもいいことであろうが、人間社会では、自然現象までもいろいろな考えや思惑が絡んでくる。

私の仕事で、京都市南部の油小路通に街路樹としてはかなりの本数の桜の木を植える工事をしていて、京都市では初めての試みのようなものである。12月に植え始めて、順次植えている段階である。最初に植えた桜の花がこの4月に少しでも咲くかを楽しみにしている。

「週刊ふるさと百名山No.33（集英社）」に六甲山、金剛山とともに京都の愛宕山が選ばれている。メインは六甲山であるが、豊富な写真や分かりやすい鳥瞰図で紹介されている。清滝の表参道（下りは月輪寺に寄る）からとJR保津峡駅から東海自然歩道の金鈴峠を通り、表参道から登り、帰りに水尾に下り、駅まで歩くコースが紹介されている。

愛宕神社は「火伏せの神」で有名だが、「武の神」と信仰を集めてきたことを初めて知った。一説には「天地人」の主人公・直江兼続の兜の前立ての「愛」の字も、愛宕神社に由来すると書かれている。

ちなみに、私の父の母親の出身は新潟県の上越市桑取村で、骨肉の争いで春日山城に上杉が立てこもり、兵糧が尽きそうになり、直江兼続が米を買いに行き、協力を求めたのが桑取村である。

7月31日の夜からの「千日詣」も昔は旧暦の6月24日であり、「都名所図会」という記録にも老若男女問わず大賑わいであったことが記録されていると紹介されている。

多くの方々が歴史ある愛宕山に興味を持たれ、地元の方々のみならず、全国からも来ていただければ、京都観光の隆盛にも一役かっただけなのではと試してみた。

3月16日は総会である。会場が例年と異なっているので、お間違いのないよう。

(2011. 2. 20 T. H 記)

檀原神宮初詣と大和三山

岡田茂久

平成23年1月16日。9:10の近鉄檀原神宮行急行に乗車。最近はほとんどが自家用車の利用であるが、昔は台高山脈、大峰の山の山行には良く利用した路線である。現在は近鉄の高性能の車両であるが、所要時間が1時間と全く変わっていない。当時のガタガタの「奈良電」がいかにか速かったのか改めて感心する。和田夫妻が竹田駅で合流。夫妻に加え、渡辺、鷲見、岡田のオールドメンバー5人ののんびりハイキングである。



檀原神宮からの畝傍山



畝傍山から金剛、葛城山

神社にあるトレースをバイパスし、急降下で登山道の中に降りたち、登山道入口の「東大谷日女命神社」に立ち寄る。由緒ありげなたたずまいで、祭神名は女神の様だが社殿を見ると男神である。なんと読めば良いのであろう。

神社の下に広がる芝生の先には、昭和十九年十月二十五日ルソン島エンガノ岬沖で沈没した航空母艦



本薬師寺址からの畝傍山

当初は20数年前の記憶から、檀原神宮前からレンタサイクルの利用を考えたが、乗り捨て可能駅が目的方向と反対の近鉄飛鳥駅と言うことで、レンタサイクルは諦めて一つ手前の畝傍御陵前で下車し直接に畝傍山に向かうことにした。

晴天とはいえ、雲が多く日差しが遮られると風が冷たくすこぶる寒い。やはり正月のこと、とりあえず檀原神宮の初詣を先にと北門から境内へ入る。さすが15日にもなると初詣の人影は無く、社殿の後ろに今日最初の目的地の畝傍山が望める。

檀原神宮北門から引き返し畝傍山登山道に入るが、大勢の軽装で歩く中高年のおじさん、おばさんばかりに出会う。毎日登山の対象になっているようで、ザックを担いだ我々の装備では面映ゆい。登山道は山を西側に回り込むようになだらかに付いている。最後の急坂を登るとすぐに頂上199.8mである。頂上はきれいに掃除されて気持ちが良い。木の間から望む金剛山、葛城山は残念ながら雲の中であった。京都、奈良方面だけは晴上がって景色が良い。降りは南西に延びる尾根にあるトレースをバイパスし、急降下で登山道の中に降りたち、登山道入口の「東大谷日女命神社」に立ち寄る。由緒ありげなたたずまいで、祭神名は女神の様だが社殿を見ると男神である。なんと読めば良いのであろう。

天香久山へはここから真東へ進む。近鉄の踏切を渡り国道169号を越えると田園が広がる。畑の中の由緒ありげな盛土の生垣と大木が「本薬師寺址」であった。

塔の心址らしい真中に穴のある大石と、廻りには基石が残っている。本薬師寺址から南に見えるこんもりとした丘が、曾我氏ゆかりの「甘櫨丘」らしい。なおも東へ川を渡ると「紀寺址」。対面してきた大型の犬が道路の溝蓋に足を取られ、眼の前で可哀そうに骨折したのには驚いた。犬のくせに鈍と言えるが老犬だったのだろうか、痛そうな悲鳴が今に耳に残っている。



天香久山へは南麓の天岩戸神社から直接に山へ登る道が判らず、西からの舗装道路から登ってしまった。竹林に囲まれた天岩戸神社裏にある天岩戸らしきものは、超ミニサイズで狐か狸の穴の様であった。そういえばミニサイズの「かぐや姫」の語源は天香久山にあると聞いたことがある。

天香久山152.4m、元は天上（高天原）にあって、天から降ってきた山と言われ大和三山のうち最も神聖な山とされている。

今は樹木が茂り西に畝傍山が木の間から望めるだけであるが、古代の天皇が登って国見をした山として有名。持統天皇の歌「春過ぎて夏来たるらし白たへの衣干したり天香具山」（万葉集）が特に知られている。また、頂上には国常立尊と龍神を祀る神社があり、社前には水を張った壺が埋められていて、古来から干天の時には、この神社に雨乞いして壺の水を替えると雨を呼ぶという。

しかしまだ雨の降らない時には、この社の灯明の火で松明を作り、村中を振り歩いたて雨乞いをするということである。

地理学的には大和三山では畝傍山と耳成山は古代の火山の名残であるが、天香久山は竜門岳、音羽山、多武峰から続く山脈の末端である。

西北の天香山神社から耳成山に向かうが、うっかりして藤原京遺跡へのコースを間違え、早めに北へのコースをとってしまった。

それでも平野にこんもりと盛り上がる耳成山を見失うことは無い。街中を曲がりくねりながら耳成池から、耳成山頂上直下の耳成山口神社参道への登り口に取り付く。神社までは5分も掛からずすぐである。

耳成山口神社祭神は、大山祇神・高皇産霊神。神社の境内は「猫」だらけでにゃんにゃんとうるさいぐらい。猫嫌いは敬遠した方が良く。耳成山口神社を抜けて直上するとすぐに耳成山。標高は139.2mで大和三山の中で一番低い。山頂からの眺望は木立に囲まれ全くないが、山頂には「明治天皇大演習御征監地」という石碑が建っているので、明治のころには眺望が良かったのであろう。山の中腹にはサザエの殻の様に山を取り巻く遊歩道が整備され、ここにもジョギングや散歩を楽しむ多勢の人と出会う。下りは北西にあるコースから、午後の柔らかい日差しにいつしか寒さも和らいだ街中を通り、近鉄八木駅に出て帰京した。

（コースタイムは道草が多すぎて参考にならず省略する。）

【第2618回例会報告】

白馬山麓「柵池・岩岳スキー」

OB 吉田 武

毎年 恒例のスキーツアー 今年は柵池と岩岳スキー場に行くことにした。

1月29日 ワンボックスカー2台で名神から中央高速そして長野道を豊科ICで降りて、R147を
通って信濃大町でR148に乗り換えて少し走ってから、昼食をして一路柵池スキー場に滑りに行こう
と思ったが、吹雪と時間的に十分滑れないので、宿舎の「やまひら」まで行き荷物を降ろして休憩し
てから「塩の道温泉」に入りに行った。しんしんと雪の降る中でゆっくりと湯に浸かり宿に帰った。

宿舎の「やまひら」は僕がスキーを始めてからのお付き合いで43年になる。

スキー場も様変わりをして大変良くなり山の地形をうまく使ったコースの取り方をしていると思う、
一番長く付き合ってもらっているお婆さんと久しぶりの対面をした。感激 感激

1月30日 今日は柵池スキー場で滑った。ゴンドラ「イブ」に乗って中間駅まで乗り、ハンノキゲ
レンデを少し滑り、ゴンドラ「イブ」で柵の森ゲレンデまで昇り昼前まで十分に滑った。雪の状態も
よく全員 年甲斐もなく滑りすぎていたが、途中で又休憩をして今日のすべりを終えた。

1月31日 少し早めに岩岳スキー場の「ノア」で山頂まで行った。今日は半日なので、休憩をして
いる時間もったいなくまた、最高の天気と雪質で昼前まで十分に滑り、塩の道にある「倉下の湯」
に浸かって帰った。

【参加者】岡田茂久、大槻雅弘、渡辺智生、岡本義弘、鷲見壽末子、方山宗子、吉田 武

【第2620回例会報告】

「深堂山595.9m」と点名「朝宮428.5m」

OB 吉田 武

2月12日 地下鉄竹田駅でAm7:00まで待ったが、誰も来ないので大槻さんと名神に乗って、第
二名神 信楽ICでおおりてR307を信楽町大西で右折してR422に入って2km走って、右の林道を行
こうと思ったが、チェーンがしてあったのでR307に戻って上朝宮から岩谷川林道を進み深堂山を眺
望できる広場に駐車して林道を歩いた。15cm積雪があり気持ちよく歩けた。この辺は植林の林道と
踏み跡があって地図を見ながら高度を稼ぐ、途中林道が方向違いに行くので地図を読みながら谷を下
り、峠に続いている踏み跡を登った。峠からは忠実に深堂山の主稜線にのってすこし急斜面を登り、
緩斜面になって250m位で深堂山三角点についた。感激 やはり雪のある山は気持ちが良い。三角点
を写真に写して早々に下山、峠からは地図の破線を忠実に下山して町道に出た。岩谷川林道を600m
位で車についた。次の山は点名「朝宮428.5m」に行く、上朝宮から下朝宮に入り、村の人に駐車を
断り、お寺の横を通り、谷あいを登った。村外れから750m位で地図を見て三角点手前の曲がった谷
の上部に頂上があると見当をつけて谷を登り少し左にルートをとって少し登ったら静かな三角点が

あった。久しぶりに読図能力を試された山だった。頂上で昼食をとり往路を下山した。今回低山であるが、読図を楽しくできた山だった。

【参加者】 大槻雅弘, 吉田 武



深堂山三角点



朝宮三角点

例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2617	檀原神宮初詣と 大和三山	1月16日	晴	岡田 茂久	鷺見壽末子 渡辺 智生 和田良一Fl	(別稿詳報)
2618	白馬山麓 梅池スキーと岩岳 スキー	1月29日 ~31日	初日雪 晴	吉田 武	大槻 雅弘 岡田 茂久 岡本 義弘 方山 宗子 鷺見壽末子 渡辺 智生	(別稿詳報)
2619	鎌倉山 峰床山	2月5日		井戸 澄夫		他に参加者がないので、朽木で写真撮影をしました。
2620	信楽の山 深堂山 点名 朝宮	2月12日	晴	吉田 武	大槻 雅弘	(別稿詳報)

雑 報

△△△ 2月の集会

日 時 2月9日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸, 大槻, 岡田, 方山, 森本, 吉田, 渡辺, 和田, 清水 以上9名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 1月の企画運営委員会

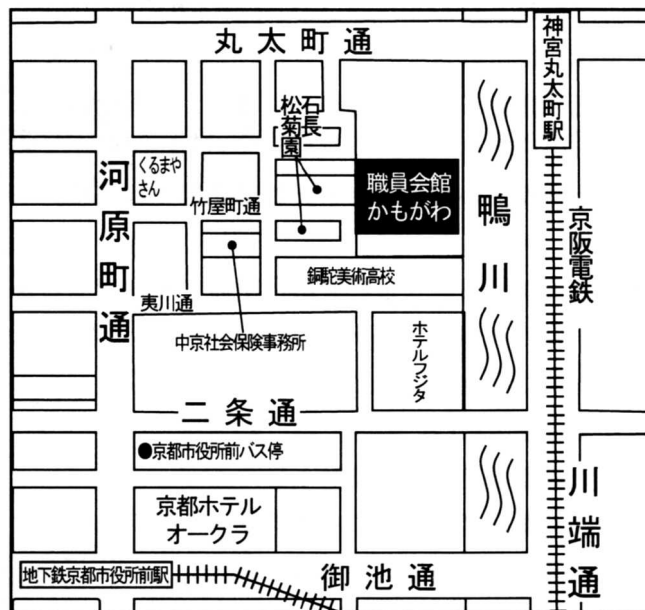
日 時 1月21日(金) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 方山, 吉田, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

2月号 北山, 京都山岳, 趣味の登山, 青嶺, 比良山岳, 木雞, わっぱ
2・3月号 山友

△△△ 平成22年度総会 兼 3月集会 のお知らせ

日 時 3月16日(水) 18:30～
場 所 職員会館 かもがわ (右図参照)
会 費 1,000円(当日徴収)
担 当 清水 康裕
堀田 剛
備 考 参加希望者は3月13日(日)までに必ず担当者へ連絡をお願いします。



△△△ 海外登山例会の案内

京交山岳部60周年記念登山では, 台湾最高峰の玉山(3,952m)に登る計画でしたが, 台風の被害で登山不能となり, 代わりに第二の高峰の雪山(3,886m)に登りました。今

秋、その玉山に再挑戦したいと思います。雪山で日本語通訳ガイドをしてくれた、TOKU (呉宗徳)氏が手続きや現地の世話をしてくれます。

日程は11月5日(土)～10日(木)の6日間を予定しています。

行程の概要は以下のとおりです。

- (1日目) 午後 関西空港から台北桃園空港へ、夕刻 台北のホテルへ(泊)
- (2日目) 台北市内観光、午後4時頃 マイクロバスで出発、東嘯温泉へ(泊)
- (3日目) 東嘯温泉から登山口へ 登山開始 排雲山荘へ(泊)(歩行 約6時間)
- (4日目) 排雲山荘から山頂へ(歩行 約2時間)、ご来迎後 登山口まで下山、マイクロバスで阿里山のホテルへ(泊)
- (5日目) 阿里山鉄道に乗り祝山へ、ご来迎、午前中 阿里山一帯を散策
午後 台北へ、夜 打ち上げ、台北のホテル(泊)
- (6日目) 昼頃 台北桃園空港から関西空港へ、解散

(注) 申し込みは井戸まで。締め切りは4月末です。

5名以上の参加がなければ取り止めます。費用は参加人数により変動しますが、10万円程度の目安です。

玉山の登山は政府の許可が必要で1日90名しか登れません。外国人は先着20名までの優先枠がありますが、玉山は外国人にも人気のある山なので、確実に許可が取れるか不確定で、日程の変更があるかも知れません。

△△△ 岳連からのお知らせ

1. 山スキー・スキー愛好者交流会について

期 日 平成23年3月13日(日) 8:30高鷲スノーパーク集合

会 場 高鷲スノーパーク～大日ヶ岳(1,709m)

参加費 ①指導員 1,000円 ②指導員以外の加盟団体員他 1,500円

※保険には各自加入してください。

詳細及び
申し込み 下記の京都府山岳連盟ホームページ(当山岳部ホームページとリンク有)
を参照されるか、清水 まで連絡してください。

締め切り 申し込み締め切りは、平成23年3月10日です。

記

京都府山岳連盟ホームページ「京都府山岳連盟」で検索するか、

アドレス <http://www4.plala.or.jp/kyoto-gakuren/> で接続してください。

2. 平成23年度ヒマラヤ登山について

期 日 平成24年3月31日～5月1日の予定

対象の山 トレッキングピーク パルチャモ(6,273m)

参加対象 京都府山岳連盟加盟団体員

概算費用 400,000円(期間約30日)

※ 登山終了後トレッキングをされる場合、別途費用が必要です。現地エージェントは、京都府山岳連盟の過去の装備を預けてある関係から、コストレックに委託します。

△△△ 平成23年度日山協山岳共済会山岳遭難・搜索保険のご案内

保険料は下記のとおりです。申し込み希望者は3月16日までに井戸まで連絡ください。
連絡先 井戸携帯電話

記

日山協山岳共済会の会員の方は、個人でも山岳団体を通してでも山岳登はんコース・軽登山コースのどの加入タイプでも加入できます。保険料とは別に、共済会年会費1,000円が必要です。

〈山岳登はんコース〉								
保険金額	契約基本タイプ							
タイプ名	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
死亡・後遺障害	100万円	100万円	159万円	159万円	235万円	235万円	500万円	500万円
遭難搜索費用	100万円	100万円	150万円	150万円	200万円	200万円	500万円	500万円
入院保険金日額	1,000円		1,000円		1,500円		2,500円	
手術保険金※	○		○		○		○	
通院保険金日額	600円		600円		900円		1,500円	
賠償責任	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料	6,450円	3,900円	8,260円	5,710円	11,540円	7,720円	23,940円	17,570円

※手術保険金は、手術の種類に応じ入院保険金日額の10倍、20倍、40倍の額をお支払いします。

〈山岳登はんコース〉

アイゼン、ピッケル、ハンマー等の登山用具を使用し、いわゆる特殊な技術と経験を要する日本国内での山岳登はん行程中の遭難事故に対応しています。「山岳登はん」にはロッククライミング、フリークライミングを含みます。

〈軽登山コース〉		
保険金額	契約基本タイプ	
タイプ名	I	II
死亡・後遺障害	150万円	250万円
救助者費用	300万円	300万円
賠償責任	1億円	1億円
入院保険金日額	2,000円	4,000円
手術保険金	手術の種類に応じ入院保険金日額の10倍、20倍、40倍の額をお支払いします。	
通院保険金日額		1,700円
保険料	2,140円	5,470円

〈軽登山コース〉

ピッケルやアイゼン、ザイル等を使用しないで登れる軽登山行為をいいます。人口壁によるスポーツクライミング、ボルダリングは対象となります。また救援者費用は山岳登はん以外の初心者でも可能な普通の登山（「軽アイゼン」(夏山登山で雪渓を越えるための簡単なアイゼン)を装着するようなケース)でも対応します。